

## 中学生の喫煙と Health Locus of Control との関連

ヨシダ ユミ タカギ ヒロフミ イナバ ユタカ  
吉田 由美\* 高木 廣文<sup>2\*</sup> 稲葉 裕<sup>3\*</sup>

**目的** 著者らは児童と母親を対象に、日常の予防的健康行動と健康と病気の原因に対する考え方の1つである Health Locus of Control (以下 HLC とする) の関連とこれらの母子間の関連を明らかにするために、縦断調査を実施した。今回は、喫煙防止教育に資することを目指し、中学生の喫煙と HLC との関連について明らかにする。

**方法** 1991年に小学校3年生を対象に第1回調査、6年生時点で第2回調査、中学3年生時点で3回目の調査を実施した。今回は中3時点の調査と小6時点の HLC を用いる。調査内容は喫煙(喫煙経験、喫煙願望)、HLC (Parcel & Meyer の児童用 HLC 尺度の翻訳版) などである。中3時点の回答者は男子136人、女子129人、合計265人であった。

**結果** 1. 喫煙経験と HLC との間には関連は認められなかった。  
2. 男子の場合、喫煙願望「保留」の者は「肯定」の者より、中3時点および小6時点の Powerful Others HLC 傾向が強かった。また、「肯定」の者は「否定」の者より小6時点の Powerful Others HLC 傾向が弱かった。  
3. 女子の場合、喫煙願望「保留」の者は「否定」の者より、中3時点の Powerful Others HLC 傾向が強かった。

**結論** 喫煙経験と HLC との間には関連は認められなかった。喫煙願望と Powerful Others HLC には関連が認められた。喫煙行動への態度を保留する者は Powerful Others HLC が強い傾向があり、他者からの影響を受けやすい。したがって、喫煙の誘いを受け入れやすい一方、周囲からの良い影響も受けやすく、健康教育の効果も期待できると考えられる。

**Key words** : 喫煙, Health Locus of Control, 中学生

---

\* 島根大学医学部

<sup>2\*</sup> 東邦大学医学部

<sup>3\*</sup> 順天堂大学医学部

連絡先: 〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1

島根大学医学部看護学科 吉田由美